

令和6年度益田市林地台帳整備及び林地台帳管理システム構築業務  
評価基準 (1次審査)

分類	評価項目	評価事項	評価基準	配点	評価点		
					①	②	③
企業評価	保有資格・業務実績・地域精通度等 (35点満点)	営業体制	島根県内営業所に常駐在籍する社員数により評価する。 ① 5名以上 ② 1～4名 ③ 0名	5	5	3	0
		事業管理体制	事業者の管理体制について、業務登録及び資格取得状況により評価する。 ① 十分 ② 一部不足 ③ 不足	5	5	3	0
		履行保証力	自己資本比率が50%以上 ① 50%以上 ② 25%～50%未満 ③ 50%未満	5	5	3	0
		業務実績①	業務実績①の件数により評価する。※1件は必須 ① 5件 ② 3～4件 ③ 1～2件 業務実績①の定義・・・平成28年10月1日以降に契約し、林地台帳（林地台帳地図を含む）の整備または更新をした業務実績 ※島根県内での業務も実績として含む。	5	5	3	1
		業務実績②	業務実績②の件数により評価する。※1件は必須 ① 5件 ② 3～4件 ③ 1～2件 業務実績②の定義・・・平成28年10月1日以降に契約し、林地台帳（林地台帳地図を含む）を管理するGISを構築した業務実績 ※島根県内での業務も実績として含む。	5	5	3	1
		地域精通度（県内）	業務実績①、②の実績のうち、島根県内実績の件数を評価する。 ① 5件 ② 3～4件 ③ 1～2件	5	5	3	1
		地域精通度（本市）	平成31年4月1日以降に本市と契約した業務実績の件数により評価する。 ① 4件 ② 1～3件 ③ 0件	5	5	3	0
		地域精通度（本市）	平成31年4月1日以降に本市と契約した業務実績のうち、システム構築実績がある。ただし、保守や軽微な改修は除く。 ① LGWAN-ASP型の地図情報システム構築実績がある ② ①に該当しないがシステム構築実績がある ③ 無	10	10	5	0
技術者評価	配置予定技術者の能力及び経験 (30点満点)	管理技術者の資格	必須の技術士（森林部門または情報工學部門）の資格に加え、本業務に関連する資格を有しているかを評価する。 ①本業務に関連する資格有 ②必須資格のみ 関連資格の定義・・・技術士の複数部門取得、博士、測量士、森林情報に関する資格等)	5	5	0	
		管理技術者の業務実績	業務実績①または②の実績を有しているかを評価する。 ① 有 ② 無 ※島根県内での業務も実績として含む。	5	5	0	
		管理技術者の地域精通度（県内）	島根県内における業務実績①または②の実績を有しているかを評価する。 ① 有 ② 無	5	5	0	
		管理技術者の地域精通度（本市）	過去5年間に本市が発注した業務の受注実績の有無を評価する。 ① 有 ② 無	5	5	0	
		照査技術者の資格	必須の技術士（森林部門または情報工學部門）の資格に加え、本業務に関連する資格を有しているかを評価する。 ①本業務に関連する資格有 ②必須資格のみ 関連資格の定義・・・技術士の複数部門取得、博士、測量士、森林情報に関する資格等)	5	5	0	
		照査技術者の業務実績	業務実績①または②の実績を有しているかを評価する。 ① 有 ② 無 ※島根県内での業務も実績として含む。	5	5	0	
		照査技術者の地域精通度（県内）	島根県内における業務実績①または②の実績を有しているかを評価する。 ① 有 ② 無	5	5	0	
		照査技術者の地域精通度（本市）	過去5年間に本市が発注した業務の受注実績の有無を評価する。 ① 有 ② 無	5	5	0	
機能評価	システム機能	機能要件表	業務要件の機能を有している順位にて、以下の3段階で評価する。 ①：1位 ②：2位 ③：3位 ④：4位以下は0点とする。	15	15	10	5
				100			

評価基準 (2次審査)

提案書の評価	基本方針	業務理解度と基本方針	本業務の目的、条件、内容の理解度、掲げる基本方針について以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	10	10	5	1
	実施フロー	フロー図の妥当性	本業務を理解したうえで、適切なフローが作成され確実な業務の履行が見込まれるか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
		工程表の妥当性	本業務を理解したうえで、適切なスケジュールが作成され確実な業務の履行が見込まれるか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	業務体制	業務体制	システム構築にあたり、人員配置や体制など十分な配慮がなされているか、以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	10	10	5	1
	実施内容	林地台帳の整備手法	林地台帳及び林地台帳地図の整備手法について仕様を満たしているか、以下の3段階で評価する。 ①：仕様以上 ②：仕様通り ③：仕様以下	10	10	5	1
システムの構築手法と機能		システムの構築手法と機能について、以下の3段階で評価する。 ①：仕様及び機能要件表以上の機能を有する ②：仕様通り ③：仕様以下	20	20	10	1	
運用保守について		システム構築後の保守に関する提案について、以下の3段階で評価する。 ①：仕様以上 ②：仕様通り ③：仕様以下	10	10	5	1	
追加提案		仕様以外に有効な提案がなされているか、以下の3段階で評価する。 ①：仕様以上 ②：仕様通り ③：仕様以下	10	10	5	1	
ンブ評価	提案内容	提案内容の説明	本業務に対する意欲、理解度、履行確実性等を以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
	システム	システムデモンストレーション	システムの操作性等を以下の3段階で評価する。 ①：高い ②：普通 ③：低い	5	5	3	1
提案価格	構築費	予定価格の90%以上であり、業務規模と大きくかけ離れていないことを確認する。 (予定価格の90%以下ならば品質に悪影響を及ぼす可能性が高く、選定しない)	5	5			
	保守費	提案内容と大きくかけ離れていないことを確認する。	5	5			
			合計	100			